

措 置 の 内 容

- 1 直接契約の件については、土地所有者である和泉市が、昭和52年の覚書により、自身の土地を団体Aが使用することについて了解していること、また、和泉市の見解を確認したところ、現時点で直ちに契約を変更する意思がない旨の回答を得たことから、現契約は変更しないこととした。
- 2 水道については、和泉市から給水管が敷設されれば、直接団体Aに対し給水することは可能であるとの回答を得ているものの、
 - ・当該工事を施工するためには、和泉警察署の敷地を横断する大規模な工事が必要で、住民、署員、車両の通行制限や駐車スペースの減少等、警察業務に多大な支障が生じること
 - ・使用料の徴収については、他の使用料の徴収と併せて行っているものであり、現行の方法でも警察業務への負担が極めて少ないこと
 - ・団体Aに直接給水管を敷設するには、約250万円という高額な費用が必要となること等を総合的に勘案し、団体Aが直接給水管を敷設して、和泉警察署の給水管を利用しない方法に変更することは適当でないと判断した。
- 3 住吉警察署の詰所については、平成27年2月6日に当該建物を撤去した。

公有財産台帳への登録誤り

対象受検機関	検出事項	監査の結果	措置の内容
<p>守口警察署 警察本部総務部 施設課</p>	<p>守口警察署の守口駅前交番に設置されている自転車等盗難防止柵が、公有財産台帳に工作物としてではなく、建物に含んだ形で登録されていたため、実態と公有財産台帳の登録内容が合致せず、新公会計制度の貸借対照表上の建物及び工作物の計上額が正確でなかった。</p>	<p>【是正を求めるもの】 公有財産台帳への登録が、適正に行われていなかったのは問題である。 署においては、本件以外には登録されていない工作物がないことを確認するとともに、公有財産台帳の重要性について周知徹底を図り、適正な事務処理を行われたい。 警察本部施設課においては、公有財産台帳等管理システムへの修正登録を行い、貸借対照表に反映させるなど必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【大阪府公有財産規則】 (公有財産台帳) 第15条 2 部局長等は、その所管する公有財産について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳を備えなければならない。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】 (台帳の登録単位) 第3条 前条に規定する財産の台帳登録にあたっては、施設単位で作成するものとし、その施設を構成している土地、建物、工作物などについて、次の各号に掲げる単位ごとに登録を行う。 (1) 略 (2) 建物 棟を一の単位とする。 (3) 工作物 それぞれの種目を一の単位とする。</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> 1 確認した結果、本件以外に財産として登録すべき工作物はなかった。 2 署内各課長等が出席する幹部会議において、公有財産の根拠、重要性等を十分説明し、周知徹底を図った。 3 本件については、工作物として公有財産台帳等管理システムへの修正登録等必要な措置を講じた。

有料通行カード利用に伴うポイントサービスの未利用

対象部局室課名	検出事項	監査の結果	措置の内容								
<p>警察本部総務部 会計課</p>	<p>大阪府警察本部各課及び各警察署等においては、高速道路を通行する際に、法人用のE T CスルーカードNを利用しているが（平成25年度 約2,350万円執行）、通行料金の支払額に応じてポイントが貯まり、ポイントを還元額と交換できる「E T Cマイレージサービス」の登録を行っていない。</p> <p>警察本部においては、以下の理由により利用には至っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路利用の大部分を占める阪神高速道路（阪神圏）がサービス対象外であること ・所属によってはインターネット環境が整っておらず、同サービスへの登録・利用状況確認等が円滑に行えないこと ・本部各課及び各署において多数のカードを利用しており、ポイントが分散されるため一概に経済的効果が高いとは言えないこと <p>（例）西日本高速道路株式会社の道路を利用の場合、1回の利用毎、10円につき1ポイントが付与される。（ただし、カード毎にポイント付与され、付与されたポイントは複数のカードで合算できない。）</p> <table border="1" data-bbox="566 1388 1219 1562"> <thead> <tr> <th>ポイントの交換単位</th> <th>還元額（無料通行分）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000ポイント</td> <td>500円分</td> </tr> <tr> <td>3,000ポイント</td> <td>2,500円分</td> </tr> <tr> <td>5,000ポイント</td> <td>5,000円分</td> </tr> </tbody> </table>	ポイントの交換単位	還元額（無料通行分）	1,000ポイント	500円分	3,000ポイント	2,500円分	5,000ポイント	5,000円分	<p>【改善を求めるもの（意見）】</p> <p>E T Cマイレージサービスによる還元額は無料通行分として使用できるうえ、登録は無料であり、年会費も不要であるため、同サービスの登録を行うことによる経済的効果は高い。</p> <p>経済性の観点から、同サービスによるポイント付加が見込まれる高速道路の利用実態に合わせて、同サービスへの登録を行うことを検討されたい。</p>	<p>各所属毎の「E T CスルーカードN」の枚数、高速道路の利用実態、公用車へのE T C車載器の搭載状況等を総合的に勘案し、経済効果が見込まれるE T C車載器の搭載車両を有する所属について、E T Cマイレージサービスの登録を実施することとした。</p>
ポイントの交換単位	還元額（無料通行分）										
1,000ポイント	500円分										
3,000ポイント	2,500円分										
5,000ポイント	5,000円分										